竹松小だより

令和５年１月２７日　　NO.３４
大村市立竹松小学校　　校長　角野良介

学校教育目標　*夢を持ち　創造性に富んだ　心豊かで　明るく元気な　竹松っ子の育成*

一面の銀世界

火曜日から水曜日にかけての寒波来襲で、久しぶりに雪が積もりました。

学校が休業となり、保護者の方には急な対応をお願いすることになりました。申し訳ありませんでした。大事に至らずにホッとしているところです。

水曜日の朝、子どもたちが来る前の運動場です。ただただ、美しい。でも、昼休みの時には、運動場は通常モード。見事に雪はなくなっていました。

巡回「詩の授業」を開始しました。

先週、人手が足りない日があり、久しぶりに自習の監督に行きました。１回行くと、また行きたくなり、授業もしたくなりました。そこで、小４の算数と国語を少ししたら、さらにやってみたくなりました。そこで、昔よくしていた「三好達治の詩」を引っ張り出して、６年生に時間をもらって、巡回授業を始めました。１回目はブランクも感じながら、手探りでしたが、徐々に流れも思い出してきました。

決して上手な授業ではないけれど、子どもたちとやり取りするのはやっぱり楽しいし、子どもたちの頑張りを体感できます。自分が担任の頃を思い出しました。６年生の次は５，４年とこの詩ができそうなので、時間をもらって、続けていこうと思っています。

転出予定の方はお早めに

本校は児童数が多く、転出入する子どももたくさんいます。特に、これからは児童数を確認して、学級数が確定していく大事な時期に入ります。転出予定の方は学校まで早めにお知らせください。

その日のうちに運動場は元に戻りました。